

平成31年 第1回 那珂川市議会 定例会
代表質問通告書

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
1	清流自民	(1) 農業の活性化について	<p>① 農業委員会と3年前設置された農地利用最適化推進委員で荒廃農地の発生防止、解消の改善にどう取り組まれたのか。</p> <p>② 農地利用の最適化を図るため、農地利用最適化推進委員と連携して取り組むとあるが、どう推進していくのか。</p> <p>③ 今から20年前、平成11年当時の佐伯町長が農業者の方々に意向調査を行われたが、そのままになっているので、再度農業者の皆様意向調査を実施したらいいと思うがどうか。</p>
		(2) 南畑地域の活性化について	<p>① 南畑地域に興味・関心を持つ人を増やすことができ、認知度も向上した。今後も移住交流促進センターを通じた移住事業と併せ、活性化に取り組むとありますが、平成25年から行った事業で人口が増えたのか。私が調べた結果、減少しているが。</p>
		(3) 地域コミュニティ活動について	<p>① 定住促進事業のうち、平成25年1月2日に始まった住宅取得奨励補助金ですが、どれくらいの成果があったのか。</p>
		(4) 防犯・交通安全対策について	<p>① 防犯カメラの設置については現在まで39台が設置されている。このことについては、犯罪の抑止効果があり評価をしますが、全市で39台は少ないと思う。今後増やす計画はないのか。</p> <p>② 今でも被害が多発しています、高齢者をねらったオレオレ詐欺等の振り込み詐欺の防止対策がないが、何もしないのか。</p>
		(5) 博多南駅前ビルの活性化について	<p>① 継続したにぎわいづくりを形成するとともに、まちづくりについての気運が高まるように取り組むとはどういうことか。</p> <p>② 継続したにぎわいづくりを形成するには魅力あるテナントの誘致、そしてビジネスホテルの誘致もあると思うが。</p>

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
2	社 民 ・ ネ ット	(1) 平成31年度予算の概要	<p>① 国民健康保険事業特別会計が、一般被保険者の療養給付費の増加などにより、対前年度比3億6,895万7千円の増額となっている。今後の市の財政状況や少子高齢社会に鑑み、国民健康保険の療養給付費を減らす必要があると考える。上記について、那珂川市の考えは。</p> <p>② 減少させるための住民向けの働きかけは。</p>
		(2) 自然との共生を図るまちづくり	<p>① 治山事業の実施は災害からの早期復旧を図るためと示されている。面積の73%が森林の那珂川市において、保安林を守り育て、森林が持つ水源の涵養機能を高めることは、防災の観点からも山地災害から住民の生命と財産を守ることになり、非常に重要と考える。上記について、治山事業の具体的な内容は。</p> <p>② 観光の推進について、五ヶ山周辺を含めた中山間地域内の回遊性を高めるための継続的な観光振興とは。</p>
		(3) 人権を尊重し、学び、輝くまちづくり	<p>① 同和問題をはじめとする、あらゆる人権問題を解決し、差別のない人権尊重のまちづくりに向けて、部落差別の解消の推進に関する法律を受け、条例の制定に向けての見解は。</p> <p>② 新学習指導要領の3つの柱、知・徳・体にわたる「生きる力」の実現に向け、学校教育課から指導業務を切り離して教育指導室を設置するとある。具体的な設置の意義と考えられる効果は。</p> <p>③ 人づくり・地域づくりのための地域学校協働活動事業の推進は大事なことである。しかし、参画する人材の確保など困難だと考えるが、検討事項は何か。</p>
		(4) 人と人とのつながり、コミュニティを大切にするまちづくり	<p>① 移住交流促進センターを通じた移住事業と併せ、南畑地域の活性化に取り組むとあるが、移住者が増えることだけで活性化は図られないと考える。上記について、那珂川市の活性化の定義は何か。</p>
		(5) 生活基盤の豊かさを実感できるまちづくりについて	<p>① 大規模集客施設の誘致について、今後の見通しは。</p> <p>② 山田地区のかわせみバスの乗継地点を兼ねた沿道利便施設の立地誘導、医療福祉施設の誘導について具体的な展望は。</p>
		(6) 住民の皆さまの多様なニーズにこたえるために	<p>① 住民の皆さまが求める多種・多様なニーズに対応した、より質の高い行政サービスを提供していくためには、職員の意識改革と資質の向上に取り組むとある。職員の意識改革と資質の向上への働きかけは実効性のあるものにするべきである。上記について、どのように行うのか。</p>

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
3	公明党	(1)「地域資源を活かした産業を創出・育成する」について	<p>① 商工業の活性化について、企業進出を促していくための情報発信や情報収集とあるが、情報は、どのような情報を、どんな媒体で、どの対象に向けて発信するのかを尋ねる。また、どのような情報を収集するのかを尋ねる。</p> <p>② 五ヶ山周辺を含めた中山間地域内の回遊性を高めるとあるが、その範囲を尋ねる。また、回遊性を高めるための具体的な取り組みを尋ねる。</p>
		(2)「男女共同参画を推進する」について	<p>① 低年齢化するデートDVについて、市内中学生を対象とした予防教育などにも取り組んでいくとあるが、その内容を尋ねる。</p>
		(3)「豊かなところを育む」について	<p>① 「教育指導室」の設置理由と、その効果を尋ねる。</p> <p>② 九州シティフィルハーモニー室内合奏団と連携協力協定を締結されたが、本市の文化・芸術における音楽の位置づけを尋ねる。</p>
		(4)「安全な生活を確保するための体制をつくる」について	<p>① 総合防災マップの見直しをするようだが、災害の備えや災害時における行動指標となる高齢者や障がい者、女性の視点を盛り込んだ防災ガイドブックが必要だと考えるが見解を尋ねる。</p> <p>② 36区の自主防災組織のネットワーク化に引き続き取り組んでいくと述べられているが、組織の構成メンバーの発掘や育成に関して、市としての支援を尋ねる。</p>
		(5)「子育て家庭を支える仕組みを充実する」について	<p>① 児童虐待の防止に関しての具体的な取り組みを尋ねる。</p>
		(6)「高齢者が安心して暮らせる環境を整備する」について	<p>① 「地域包括ケアシステム」の構築のためには、行政、事業所、自治会、NPO、ボランティア団体、シニアクラブ、地域住民などのネットワークづくりが重要だが、どのように取り組んでいるのかを尋ねる。</p>

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
4	日本共産党	(1) 消費税増税が市民生活に与える影響について	① 市民生活の現状認識について。 ② 市民、中小零細業者への影響の認識について。 ③ 公共施設利用料の値上げについて。
		(2) 国民健康保険税について	① 制度の構造的な問題について。 ② 均等割の子どもの減免について。 ③ 低所得者への減免について。
		(3) 市民の暮らしを守る負担軽減策について	① 低所得層の減免制度の拡充について。（国保税、介護保険料、保育料など）
		(4) 児童虐待防止について	① 取り組み強化について。
		(5) 学校教育について	① 新たに設置する「教育指導室」の目的と効果について。 ② 教員の負担軽減策について。
		(6) 総合運動公園計画について	① 市民全体への周知について。
		(7) 大規模集客施設（イオン）の立地について	① 計画が進まない要因は。 ② 立地計画に期限は設けないのか。
		(8) 産婦人科について	① 喜悦会新病院の産婦人科開設の可能性について。 ② 今後の産婦人科の確保について。
		(9) 行政改革について	① 最少の経費で最大の効果について。
5	無所属の会	(1) 「環境を守る基盤と体制を整備する」について	① 第2次那珂川市環境基本計画の成果指標の見直しの内容とは。 ② 目標達成となる目標数値は明確にあるのか。
		(2) 「地域資源を活かした産業を創出・育成する」について	① 五ヶ山周辺を含めた中山間地域の回遊性とはどういうことか。 ② 他の自治体との連携はどうなるのか。 ③ 観光振興・地域振興などが図れる基本構想とは何か。
		(3) 「安全な生活を確保するための体制をつくる」について	① 総合防災マップの見直しとあるが、いつ発行するのか。
		(4) 「子育て家庭を支える仕組みを充実する」について	① 関係機関との連携を図りながら継続的な支援や児童虐待の防止に努めるとは具体的にどうするのか。 ② また関係機関とはどのような機関か。
		(5) 「地域に根ざした特色あるコミュニティを形成する」について	① 南畑地域の認知度向上とは、何をもって向上したといえるのか。 ② 地域コミュニティ活動課題を抱える地域とはどこか。 ③ どのようなことを考え地域を定めるのか。